# 医学部・大学病院　移転事業

琉球大学医学部及び病院は、沖縄健康医療拠点の中核として、令和６年度にキャンプ瑞慶覧（西普天間住宅地区跡地）に移転します。医学部及び病院では、**“国際化”、“人材育成”、“先端研究・産業振興”、“医療水準の向上”**を移転構想の柱とし、沖縄振興や長寿県沖縄の復活、国際保健（グローバル・ヘルス）への貢献を目指しています。
また、この計画は、駐留軍用地跡地利用の先行モデルとして注目されています。

※イメージは設計段階のものであり、今後の進捗により変更になる可能性があります。

## 移転構想

### 国 際 化

～未来を拓く国際性豊かな医療拠点～

国際水準の教育と医療の実現、また研究体制の構築に向け、国際医療拠点に相応しい機能と設備の整備を進めます。

- 医学部と大学病院の国際認証の取得
- 国内外の大学、医療機関、企業等との積極的な連携
- 国際医療拠点に相応しい病院環境の整備
- 保育園、授乳室、障がい者対応施設等のダイバーシティ（多様性）に対応したアメニティの充実

### 人材育成

～国際的な医療人材の育成と交流拠点の形成～

ニーズに柔軟に対応でき、また国際的に通用する教育システムの構築を進めるとともに、国内外大学等との連携体制の強化を図ります。

- グローバルな視野を持った医療者、医学研究者の育成
- 研究マインドを身に着けさせるための学部段階からの研究室配属
- 看護部と保健学科の連携による高度実践看護師の育成
- 海外大学と連携したクリニカルクラークシップ（臨床参加型実習）の充実
- 大学病院内における教育スペースの確保

### 先端研究・産業振興

～世界に誇れる医学研究拠点の形成と産業振興～

沖縄特有の環境や資源を活かしつつ、最先端分野の研究の充実を図るとともに、人材が集まる組織の枠を超えた研究組織の構築を目指します。

- 先端医学研究センターを中心とした創薬等の最先端分野の研究
- 医工連携による医療機器等の開発
- 国、企業、近隣大学、研究機関から優秀な人材が集まる仕組みの構築
- 産業振興による地域の活性化
- 国内・国際学会開催による来訪者の増加

### 医療水準の向上

～高度医療の提供による拠点形成～

中核病院としてがんや救急医療、また移植医療等への対応強化を図るとともに、災害対応や遠隔診療等の更なる充実により医療水準の向上を目指します。

- 化学療法や放射線治療分野の充実によるがん治療成績の向上
- 高度救命救急センターの設置
- 生体肝移植等の移植医療の充実
- 先進的医療に対応した手術室の充実
- 日帰り手術、光学診療等の充実による低侵襲治療の推進
- 沖縄県地域医療支援センターを拠点とした離島・へき地医療の充実

### 沖縄健康医療推進基金のご協力のお願い

移転に先立ち、学生及び皆様へ、より快適で安全な医学教育・研究・診療環境を提供するために、沖縄健康医療推進基金を設立しました。皆様のご厚情を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

詳しくはコチラ！▶

県道 81 号線から見た移転予定地（令和５年９月現在）

病院内観パース（エントランスホール）